

クレーンの ワイヤー切れる

「吊り下」には
絶対、絶対……入らないこと 『逃げ場』の確保

敷き鉄板・資材の積み降し作業時
ユニック作業に注意しましょう

ワイヤー、フック、シャックルの安全点検

クレーン操作中にワイヤー切れる 重さ300キロのカゴが落下 下敷きになり

68歳漁師が、足や骨盤を折る重傷

2025/7/29(火)

29日午前2時30分ごろ、八雲町落部の漁港で、「ホタテのカゴを吊ったワイヤーが切れて下敷きになった」と関係者から消防に通報がありました。

男性はトラックで運ばれてきたホタテの稚貝をクレーンで船に積み込む作業中でした。

5人で作業していたところ、ホタテの入ったカゴを吊ったワイヤーが突然切れ、男性はカゴの下敷きになりました。

カゴは40センチ四方のものが連なっていて300キロほど重さのあるものが、約3メートルの高さから落下したということです。男性は骨盤や足の骨を折る重傷を負い、病院に運ばれましたが、搬送時、意識はあり会話のできる状態でした。警察は当時の状況を詳しく調べています。